

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	認知症の理解Ⅱ	担当者名	松橋ひとみ(実務家教員)
授業の概要	認知症についての基礎知識をもとに、本人を中心とした家族や社会との関わりへの影響を理解し、理念に基づいたケアについて理解する。また、認知症の人の生活を地域で支えるため、本人と家族へのサポート体制や多職種連携・協働による支援について理解する。				
科目の到達目標	1. 認知症の人の日常生活における観察、対応する方法を理解することができる。 2. 認知症の人へのアプローチについて理解できる。 3. チームケアであることを理解し、多職種連携と協働の必要性を理解できる。 4. 認知症の人を支える家族の課題を知り、介護力に応じた家族への支援を考えることができる。				
DPの観点	③柔軟性(20) ⑥専門知識・技能(50) ⑦思考力(30)				
授業時間外学修(予習・復習)	予習として、該当するテキストの図、表に目を通す。予習・復習についてはそれぞれ2時間程度の学習をする。				
フィードバックの方法	授業担当者より授業内レポートの結果が返却される。最終レポートは返却しない。				
単位認定の要件	適宜、小テストを実施し、学習成果を確認する。視聴覚教材を使用時は授業内のレポート提出を求める。受講態度、提出物、レポート内容から総合的に判断する。				
評価の方法・割合(%)	最終レポート 60%、授業内試験 10%、授業内提出物 10%、授業内活動 20%				
履修上の注意事項	適宜、演習を実施するが、演習での積極性も授業内活動として評価対象とする。30分未満の遅刻・早退が3回みとめられた場合、1回の欠席とし換算する。介護福祉士資格取得必須科目				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			パーソン・センタード・ケアについて理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
2			認知症の人の理解と特性をふまえたアセスメント・ツールを知る。	③⑥⑦	振り返りシート
3			認知症の人とのコミュニケーションについて理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
4			認知症の人の理解と特性をふまえたアセスメント・ツールを知る。	③⑥⑦	振り返りシート
5			認知症の人の食事、排泄、入浴のケアについて理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
6			認知症の人の清潔保持、休息・睡眠について理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
7			認知症の人の活動・生きがいのケア、BPSDのケアについて理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
8			ユマニチュードについて理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
9			認知症の人へのアプローチについて理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
10			高齢者に関する終末期医療について理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
11			認知症の人に関する終末期医療と介護、課題について理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
12			認知症の人への環境づくりについて理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
13			家族を支える視点、家族への支援、レスパイトケアについて理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
14			介護福祉職の職場環境について理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
15			認知症に関わる制度、地域生活支援。多職種連携と協働について。	③⑥⑦	振り返りシート
期末試験			最終レポート提出		

使用テキスト	最新 介護福祉士養成講座 第13巻「認知症の理解」(中央法規出版) 荘村明彦
参考文献 参考URL	認知症の知識と制度・サービス(中央法規出版) 石原哲郎
備考	

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--